

連結レバレッジ比率の構成に関する事項（2023年3月期 第1四半期末）

（単位：百万円、％）

国際様式 （表2） の該当番号	国際様式 （表1） の該当番号	項目	当期末 2022年6月末	前期末 2022年3月末
<b>オン・バランス資産の額</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	5,884,157	5,771,595
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	5,956,175	5,825,559
1b	2	連結レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額（△）	-	-
1c	7	連結レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額（連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。）	-	-
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額（△）	72,017	53,963
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額（△）	33,536	28,804
3		オン・バランス資産の額（イ）	5,850,620	5,742,791
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	24,577	12,805
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	11,455	9,072
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	15,554	8,794
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	-	-
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	-	-
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額（△）	-	-
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額（△）		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	-	-
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額（△）	-	-
11	4	デリバティブ取引等に関する額（ロ）	51,587	30,672
<b>レポ取引等に関する額</b>				
12		レポ取引等に関する資産の額	-	-
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額（△）	-	-
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	2,861	1,669
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レポ取引等に関する額（ハ）	2,861	1,669
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	1,059,675	1,053,663
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額（△）	878,246	881,680
19	6	オフ・バランス取引に関する額（ニ）	181,428	171,982
<b>連結レバレッジ比率</b>				
20		資本の額（ホ）	407,726	432,373
21	8	総エクスポージャーの額（（イ） + （ロ） + （ハ） + （ニ））（ヘ）	6,086,498	5,947,116
22		連結レバレッジ比率（（ホ） / （ヘ））	6.69	7.27
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率</b>				
		総エクスポージャーの額（ヘ）	6,086,498	5,947,116
		日本銀行に対する預け金の額	1,046,164	1,712,397
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額（ヘ´）	7,132,662	7,659,513
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率（（ホ） / （ヘ´））	5.71	5.64

（注） 「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により平成26年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1及び表2に記載された番号を指します。

前四半期の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因（該当差異がある場合に限る。）

連結レバレッジ比率は、前四半期比0.58%低下しました。

主に「その他有価証券評価差額金」の減少により、資本の額が246億円減少したことが要因であります。

単体レバレッジ比率の構成に関する事項（2023年3月期 第1四半期末）

（単位：百万円、％）

国際様式 （表2） の該当番号	国際様式 （表1） の該当番号	項目	当期末 2022年6月末	前期末 2022年3月末
<b>オン・バランス資産の額</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	5,865,224	5,751,373
1a	1	貸借対照表における総資産の額	5,937,242	5,805,337
1b	3	貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額（△）	72,017	53,963
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額（△）	28,926	22,933
3		オン・バランス資産の額（イ）	5,836,297	5,728,440
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	24,577	12,805
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	11,455	9,072
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	15,554	8,794
6		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	-	-
		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	-	-
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額（△）	-	-
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額（△）		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	-	-
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額（△）	-	-
11	4	デリバティブ取引等に関する額（ロ）	51,587	30,672
<b>レポ取引等に関する額</b>				
12		レポ取引等に関する資産の額	-	-
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額（△）	-	-
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	2,861	1,669
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レポ取引等に関する額（ハ）	2,861	1,669
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	1,051,424	1,044,807
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額（△）	870,824	873,715
19	6	オフ・バランス取引に関する額（ニ）	180,599	171,092
<b>単体レバレッジ比率</b>				
20		資本の額（ホ）	393,259	419,485
21	8	総エクスポージャーの額（（イ） + （ロ） + （ハ） + （ニ））（ヘ）	6,071,346	5,931,874
22		単体レバレッジ比率（（ホ） / （ヘ））	6.47	7.07
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率</b>				
		総エクスポージャーの額（ヘ）	6,071,346	5,931,874
		日本銀行に対する預け金の額	1,046,164	1,712,397
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額（ヘ <sup>^</sup> ）	7,117,511	7,644,271
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率（（ホ） / （ヘ <sup>^</sup> ））	5.52	5.48

（注） 「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により平成26年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1及び表2に記載された番号を指します。

前四半期の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因（該当差異がある場合に限る。）

単体レバレッジ比率は、前四半期比0.60%低下しました。

主に「その他有価証券評価差額金」の減少により、資本の額が262億円減少したことが要因であります。